

幼 兒 の 教 育

昭 和 七 年 一 月

親 切

幼児保育の要諦を一語に盡すものがあれば、それは親切である。親切のないところに、保育の理論も経験も、工夫も上手もない。その反対に、親切のあるところ、一切の缺陷も、つさを覆ふて餘りある眞の保育が實現する。

親切とは相手に忠な心であり、相手の爲に己を傾け注ぐ態度である。相手から求められない前に、その求むるところを見つける目であり、聞きつける耳であり、更に、常に懇に行き届く心であり手である。

理論がよく分りませんでいいひ、経験が足りませんでいいひ、氣のつかない性分でいいひ。その實は親切が足りなかつたのではあるまいか。少くも、一點、不親切がまぢつてゐたのではあるまいか。

他の不十分は自ら恕する途もある。不親切だつた時、まごへ向つて自ら言ひ譯しやう。況して、私達の親切を信じきつてゐて呉れる子ども達に對して。——私達は屢々自らぞつみする。